

日常生活の不便を軽減するために 地元の便利なサービスを紹介する情報誌

NPO法人パオッコ から離れて暮らす親のケアを考える会 太田差恵子

高齢になると介護が必要、というほどではなくても日々の暮らしに不自由が生じてくるものです。日常生活の不便をどのようにすれば軽減できるのか？各地でさまざまな取り組みが行われています。直接サポートはもちろん、どこにどのようなサービスがあるのか情報支援も大切です。

●町民の声から生まれた 久御山町社協の情報誌

京都府の久御山町社会福祉協議会は「高齢者・障がい者にやさしいお店情報誌 a i (あい)」を昨年3月に発行しました。日常生活に不便を感じる高齢者や障がい者に配慮したサービスを

行う町内の事業所を紹介するもの
です。

発行のきっかけは、町内の高齢者世帯や、一人暮らし高齢者に対し日常生活の中での困りごとについて聞いたアンケート結果でした。474通のうち回答が327通ありました。

「困っていない」という回答が大多数のなか、次のような困りごとがあることが判明。

- ▼日用品等の買い物について困っている42名
 - ▼毎日のゴミだしについて困っている27名
 - ▼食事の調理や用意について困っている29名
- 具体的にはこのような声がありました。

「歩くのが大変で、荷物が重い。特に水・灯油の購入に困っている」

「自家用車に乗れなくなると、食料品の買い物が困難。夏場暑い中でスーパーまでの行き帰りが大変」

「ゴミの分別ができないので迷惑かけている」
「一人暮らしのため、料理の品数が少なくしか作れない」等。

アンケートの結果を踏まえて、社会福祉協議会としてできることは何だろう、と検討し、本情報誌の発行を決定しました。

●事業所を一軒一軒訪問し 44社の情報を掲載

作成については、商工会や町

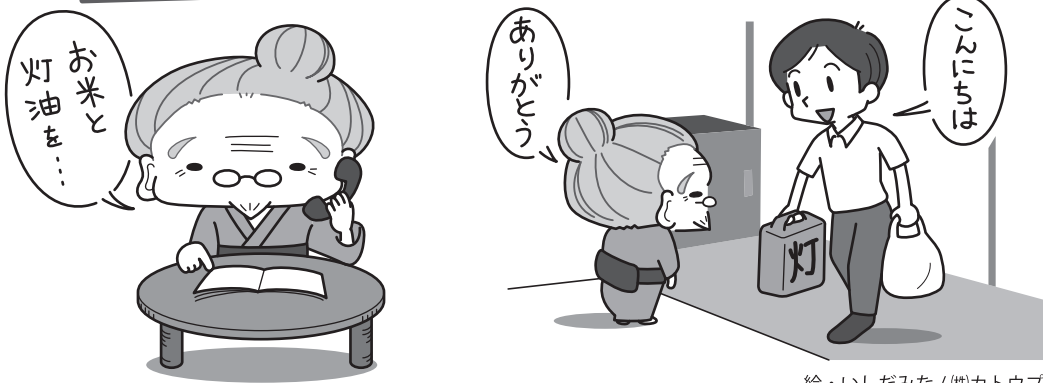
の協力を得て、町内や、久御山町近辺で先述の困り事を解消できるような事業所を一軒一軒訪問し、趣旨説明を行いました。そして完成した冊子には44社を掲載することができました(掲載無料)。

情報誌の名称「a i (あい)」は、久御山町の地域福祉計画において位置づけた「ふれあい・支えあい・愛のこもった支援」の「あい」から名付けています。

「掲載の商店には、『高齢者・障がい者にやさしいお店』ということで、優しく接していただくようお願いをいたしました。困りごとを解決するとともに、業者が顧客が増え、地域が活性化することを目指しています」



情報誌で便利なお店・サービスが探せる!



絵・いしだみな / 株式会社プロ

と担当者。また、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の方への接し方や、症状などについて研修会を実施したそうです。

情報誌には、配食や食材の配達、米、水、灯油の配達、電化製品、掃除、時計、メガネ、理美容、タクシー関係などのサービスが掲載されています。

自転車の出張修理や送迎OKの美容室など珍しいサービスを提供している店も。

完成した情報誌は、民生児童委員やケアマネジャーを通じて直接高齢者や障がいのある方に届け、介護施設や、公共機関の窓口などに配布しました。

掲載事業所側に反響を尋ねたところ、情報誌を見て依頼があったのか分かったり、部分もありはつきりとした効果を測ることは難しいのですが、カタログの送付依頼や、電話での問い合わせ

わせ、注文に結びついているケースもあるようです。より多くの人々の目に触れるようにとの思いから、ホームページにもアップされています。

●情報誌から一歩進めた「地域見守りネットワーク事業」も

現在、久御山町社会福祉協議会では、情報誌から一歩進めた「地域見守りネットワーク事業」に取り組んでいます。66社の事業所の協力を得て、さりげない見守りにより異変を感じた時には、同協議会に連絡。職員が状況確認に駆けつけるシステムです。

企業だけではなく、消防署や行政、地域包括支援センター、民生児童委員や自治会の代表者とも連携。

「通報をいただき社協職員がすぐに駆け付けることにより、大事には至らないケースもありました」と担当者。「情報誌」を作成するだけにとどまらず、地域全体で高齢者や障がい者を見守る体制ができています。

* *

久御山町は、京都市の都心から南へ約15kmに位置し、北は京都市伏見区に隣接しています。古くは農村地区でしたが、戦後国道1号線が通るようになってから工業化が進むとともに京都や大阪のベッドタウンとして宅地化が進みました。人口は1万6459人。65歳以上の高齢者数は4314人・高齢化率26.2%（平成26年4月）です。

道路網は発達していますが、公共交通機関となると鉄道駅がなく、鉄道に乗ろうとすると隣接市にある駅までバスに乗る必要があります。コミュニティバスも走っていますが、足腰に不自由が生じると、ちよつとした買い物も大変に……。

民間、行政、地域住民が一緒になって高齢者や障がい者やささる取り組みは各地で始まっています。潤滑に機能して、利便性のアップはもちろん、地元企業や地域の活性化につながることを期待します。